



THE GOSPEL NEWS

在日大韓基督教会
宣教100~110周年

標語

感謝の百年
希望の百年

(テサロニケ第1/5:18)

1963年9月20日 第3種郵便物許可(毎月一日発行)

2017年4月1日(土) 第761号

発行所 福音新聞社(1部100円)

〒169-0051東京都新宿区西早稲田2-3-18

☎03-3202-5398 info@kccj.jp

発行人/金性済・編集人/金柄鎬

印刷所 青丘文化社

復活節
主日説教

イエス様の復活を経験すると

<ヨハネによる福音書11:25-26>



権潤日 牧師(浜松教会)

春が来ました。
冬の間、凍っていた全てのものが解けて、新芽が出、花が咲き始めます。春になると力が出ます。

イエス様の復活も春のようです。硬くなっていた信仰も、消えていく希望も、見えなかった愛もイエス様の復活を通して新しくなって現れます。

イエス様の復活を経験した信仰は春に咲く花のように、新芽のように躍動する信仰と希望と愛で現れます。

皆さんの信仰は今、頑なになっていませんか? イエス様の復活をもう一度思い出してください。

イエス様はこの世の皆の希望であり、光でありました。出会う人々に天の国の福音を伝え、病気を癒し、死んだ人も生かしてくださいました。なのでみんなはイエス様こそ預言されているとおりの救い主であることが確かだと確信しました。イエス様に選ばれた弟子達は、職場もやめ家族からも離れ、イエス様の弟子になり、天の国を伝えるため尽くしました。そんなある日イエス様が兵士達に逮捕され、法廷に立たされ鞭に打たれ血を流しているすがたを生々しく目撃するわけです。弟子達は自分達の英雄が十字架で死んで行く前で嘔然となります。目の前が真っ暗になり、この人が英雄とは信じがたくなりました。弟子達は騙されたと思い、みんなばらばらに分かれて、もとの職場に就くようになりました。イエス様が十字架に架けられた後3日経ちました。弟子達の何人かが変な噂を始めました。イエス様が復活したというのです。始めは嘘だと思った弟子もいましたが、復活したイエス様に会った話があちらこちらから出てきます。そして、彼らもイエス様に会いました。およそ500名の弟子達が復活したイエス様に会ったのです。

弟子達は悟り始めました。イエス様は3日後によみがえると預言されていた。それは真実だった。確信ができました。イエス様のよみがえりによって頑なになった信仰が生きた信仰に復活しました。

信仰が復活した弟子達は聖霊に満たされ、力が溢れました。最後には殉教をも喜びながら受け入れました。なぜなら彼らは復活を見る経験をしたからです。

こんにちみなさんもイエス様の復活を見る経験が出来ます

ように願います。力を感じられる事でしょう。信仰の復活は我らに力を与えます。生き生きとします。不信仰から確信に満ちたものと成ります。

もう一つ、逆転の希望が生まれます。イエス様の十字架の死を目撃した弟子達は、恐れと共に絶望に陥りました。全ては終わりだと思いました。イエス様と共に行って来たすべては水の泡に過ぎないと思いました。サバイバルの現実が目の前に広がります。復活を経験しないと絶望的になります。それは復活を見ていなかったからです。しかし、イエス様の復活に会って見て下さい。イエス様の復活に会った弟子達は、イエス様からいただいた天の希望に燃え上がりました。それまでの失敗、敗北、死、事件事故は大きな問題ではなくなりました。神様が見せてくださる天の国への希望がもつとくつきりとして見えてきます。そして、イエス様が待ちなさいと教えていただいた聖霊様を待ち望みました。彼らは聖霊の洗礼を受けるようになりました。確実な希望の中で新しい人生が始まりました。

そして、イエス様の復活を経験すると、神様の愛も復活します。神様に近寄るには遠かった私達でしたが、イエス様の復活を通して神様の愛を経験することになりました。イエス様の復活の意味は全ての人類を救す神様の愛を現すものであったからです。イエス様はよみがえり、信仰を捨てた我らを叱らず、さりげなく神様の愛を示してくださいました。イエス様はペテロにも現れ、彼は神様の愛を確認します。復活したイエス様に会ったペテロは変わりました。神様の愛を発見します。その後、彼は二度と裏切ることはありませんでした。それどころか人生の最後まで主と共に歩む姿で生きとおします。イエス様の復活を経験すると人が変わります。神様の愛に触れ、愛された者として生き、愛を持って生きるようになります。

今日春を迎え新しい活力に満ちている皆さんに、イエス様の復活が経験できるように祈ります。そして、頑なになっていた信仰も復活し、薄れ掛けていた希望も鮮明になり、やる気のない人生が神様の強い愛に触れ、新しく動き出すように願っています。イエス様の復活の経験と共に再出発です。再出発!!!

在日コリアン文化の創造と多文化共生社会を目指して、在日本韓国YMCAは皆様と共に歩みます。



東京◆ホテル：東京で一番安く便利な宿泊研修施設。フロントは日・韓・英語に対応、24時間営業。

10名様~200名様のお会議及び宿泊研修(50名)も可能。

◆スペースYホール：200席の多目的ホール。セミナー・コンサートなどに対応。

◆韓国文化教室(チャンク・カヤグム・舞踊) ◆韓国語講座

◆YMCA東京日本語学校(3ヶ月~2年、短期研修)

関西◆にほんご教室(新規開講・募集中) ◆韓国民俗芸術科(舞踊・チャンゴ)

税込	平日	休日
シングル	¥6,700	¥6,200
ツイン	¥10,500	¥9,800
トリプル	¥13,500	¥12,600
※朝食¥200(宿泊者価格)		

在日本韓国YMCA <http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/> *会員及び教職者割引有。詳しくはお問い合わせください。

東京韓国YMCAアジア青少年センター 〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-5-5 ☎03-3233-0611

関西韓国YMCAアジア青少年センター 〒537-0025 大阪市東成区中道3-14-15 ☎06-6981-0782

マイノリティ宣教センター開所にあたって

設立準備委員長 金 性 済

在日コリアンに対するヘイトスピーチの止まぬ2014年の秋、在日大韓基督教会(KCCJ)は、祈りのうちに主に導かれ、2015年11月18日から21日にかけて東京・在日本韓国YMCAを会場に、『ヘイトスピーチをのりこえ、共生の天幕を広げよう!』という主題を掲げ、第3回「マイノリティ問題と宣教」国際会議を開催いたしました。主催者の在日大韓基督教会の呼びかけに呼応する日本キリスト教協議会、日本基督教団、日本キリスト教会、日本バプテスト連盟、日本バプテスト同盟、日本カトリック難民移住移動者委員会、ウェスレー財団が共催団体となり、そしてWCC国際関係教会委員会および日本聖公会が後援団体となって、青年プログラム(11/15~17)を含め、国内外から130名の参加者を得て、大変有意義に進められ、最後に共同声明文を発表して、閉幕されました。

会議終了後、共同声明文に謳った「マイノリティ宣教センター」設立に向けて、在日大韓基督教会総会の承認を得て、国際会議とともに開催した教団、団体の代表者とともに、フォローアップ会議、そして2016年後半からはマイノリティ宣教センター設立準備会議を重ねることによって、2017年4月8日に正式に、「マイノリティ宣教センター」(Center for Minority Issues and Mission; CMIM)が発足されるに至りました。

マイノリティ宣教センターの活動は、①人種主義との闘い、②青年宣教、③和解と平和のスピリチュアリティ開発、④日本教会・海外教会への発信を使命として展開されます。

すでに、現代日本におけるマイノリティに対する差別問題の現状やその背後にあるものを学び、問題解決のためにできることを考え、様々なグループ・コミュニティを横断するエキュメニカル・ネットワークを目指すために、青年たちが主体となって、2017年9月に大阪でユース・フォーラムを企画しています。また、青年をはじめ様々な人々が、マイノリティについての理解を深め、反差別のネットワークを強めていくために学びあえる場としてのCMIMカフェを開催したり、マイノリティに関するエキュメニカルな神学的な思考と実践を深めるための神学セミナーや神学フォーラムを開催する予定

です。さらには、祈り、ダンス、演劇、ゴスペル、礼拝などを通して、排外主義に抗う理念としての「多文化共生」を立体的・霊的に分かち合う表現の場として「フェスティバル」の開催も企画しています。そして、日本の中のマイノリティ当事者が集い、実践交流を通じてネットワークを強め、反差別の運動とともに展開していくための場として「マイノリティ円卓会議」を開く準備も始めています。

「マイノリティ宣教センター」は、「マイノリティ」に誰が入るのか?という大きな問いを噛み締めながら、「天幕を広げる」実践を積み重ねていきます。すでに、海外教会をはじめとして、熱い賛同と数多くの支援の意志が示されています。特に、このマイノリティ宣教センターを背負っていくために、在日大韓基督教会横須賀教会の金迅野牧師とカナダ長老教会(PCC)から信徒宣教師として派遣されたデイビッド・マッキントッシュ(David McIntosh)宣教師が共同主事として仕えることになったことを感謝します。

排外主義に対抗するエキュメニカルな運動の拠点としての「マイノリティ宣教センター」の活動を積極的に支援してください。



「NCC教育部平和教育資料センター」いよいよオープン!

5月29日(月)から月・水・金開館

NCC教育部では、教会教育・平和教育・人権教育を3つの柱として、これまで様々な取り組みをしてきました。「平和のきずな献金」、「キリスト教教育週間」、「日・韓・在日ティーンズキャンプ」、「全国教会教育フェスティバル」の他、各種セミナーや人権教育です。

「平和のきずな献金」は、様々な形で苦しい環境に置かれている国内外の子どもたちを支援している活動に、皆様からの献金をお届けしてきました。特にアイヌ民族の子どもたちの教育支援、外国にルーツをもつ子どもたちの教育支援、沖縄の基地問題に取り組む方々との連帯や平和教育推進はこれからも継続していきたい事柄です。こうした活動をさらに推進していくために、NCC教育部は110周年を迎える2017年5月、NCC教育部平和教育資料センターを開館します。100周年の折に収集したキリスト教教育の歴史資料を展示し、過去を振り返りながら未来を展望する場所にしていきたいと考えています。過ちを繰り返さないという決意とともに、過去の戦争協力教材も積極的に展示していきます。

平和な社会の実現を目指して、ひとりひとりを大切にす

キリスト教教育を推進することは、小さくされた存在の傍らに共にいらした主イエスの後に従うことです。どうぞセ



ンター開設をご支援していただけますよう、皆さまのお祈りと共にご協力を心からお願いたします。皆様の上に神さまの祝福を心よりお祈りいたします。

理事長 石田 学 総主事 比企敦子、同センター運営委員会

*開館日:月・水・金 *開館時間:12時30分~17時

*入場料:常設展示¥200 中高生¥100 (小学生以下無料) 特設展示¥500

(団体としての入館、開館日以外の希望については、事前にご相談ください)

*主な展示資料の説明やリーフレットは、4言語(日・英・韓・中)

西部地方会

神戸東部教会 牧師委任式挙行 中国朝鮮族の韓承哲牧師が4代目



3月5日、西部地方会の神戸東部教会において、韓承哲牧師の委任式が盛大に行われた。

臨時堂会長 韓世一牧師(神戸教会)の司会によって始まり、李聖雨牧師(明石教会)の「福原」(創13:14～15)という説教をもって礼拝が行われた。

委任式では、西部地方会長の金承熙牧師(岡山教会)の司式のもと、委任誓約と宣言が出された後、梁榮友牧師(武庫川教会)が委任牧師に対し、副総会長の尹聖哲長老(神戸教会)が教友に対する勧めの言葉、祝辞は総幹事の金柄鎬牧師、リバイバル兵庫協力会の吉川潤牧師が述べた。

神戸東部教会の第4代目の担任牧師として牧会を委任された韓承哲牧師は、1968年中国に生まれた朝鮮族で、北京林業大学工学部を卒業し、関西学院大学神学研究科博士前期課程を修了した。

2005年神戸東部教会で受洗、2011年5月から2015年4月まで神戸東部教会の伝道師、2015年4月に西部地方会で牧師按手を受け、神戸東部教会の副牧師(2015年5月～2016年10月)として奉仕した。

家族としては、許尚丹夫人と二人の娘がいる。

西部地方会

信徒修養会を開催 55名が集まり親しい交わりの恵み

2017年3月19日(日)～20日(月)に兵庫県姫路市のニューサンピア姫路ゆめささで西部地方会信徒修養会が開催された。本修養会では「あなたがたが食事を与えよ」という主題が与えられ、日本基督教団久万教会(愛媛県)の担任教師である小島誠志牧師を講師に招いた。

1日目の開会礼拝は韓世一地方会副会長(神戸教会)が「実を結ぶ私たち」(ヨハネ15:1～15)という題で説教した。第一講義は「あなたがたが食事を与えよ」(マルコ6:30～44)、二日目の第二講義は「水を運ぶ」(ヨハネ2:1～11)であった。キリストは私たちの手を用いて御業を行うことを願っておられ、私たちは収穫の喜びに与らせていただいているが、収穫が見えない今を忍耐すれば、最後の時に主と再会して収穫を見ることができると、というメッセージであった。

翌朝の早天祈祷会では韓承哲牧師(神戸東部教会)が「神様の計画」(エフェソ3:1～13)、閉会礼拝では金承熙地方会会長(岡山教会)が「神にたがうことはない」(ヨシヤ23:14～16)の題で説教した。55名(幼児3名)の参加があり、親しい交わりとみことばの恵みに溢れる1泊2日であった。

(報告者: 尹聖哲長老)



西部地方会

西宮教会 牧師委任式挙行 来日して29年の金永柱牧師が赴任



3月26日、西部地方会の西宮教会で、金永柱牧師の委任式が行われた。

一部の礼拝では臨時堂会長李聖雨牧師の司会によって始まり、鄭寿天名誉牧師が「汝の神を愛せよ」(マタイ22:37～39)という題で説教した。

二部の委任式では、西部地方会長の金承熙牧師の司式のもと、委任牧師に対する誓約と西宮教会の信徒に対する誓約と宣言が出された。その後、委任牧師に対する勧めを梁榮友牧師が、梁昌熙長老が信徒に対する勧め、祝辞を日本宣教協力会の金安弘牧師、総幹事の金柄鎬牧師が述べた。

この度西部地方会から西宮教会の担任牧師として牧会を委任された金永柱牧師は、1963年韓国で生まれ、聖潔神学大学を卒業し、1988年来日以後に大阪キリスト教学院本科、また渡米してAzusa Pacific University神学校を卒業した。1996年に西南地方会において牧師按手を受け福岡教会の副牧師、堺教会の担任牧師を勤めた。家族は金京姫夫人と1男がいる。

西部地方会

新居浜グレース教会で 金善栄長老将立式挙行



3月12日、西部地方会の新居浜グレース教会において金善栄執事の長老将立式が厳粛に行われた。司会を安辰男牧師、司式を金承熙牧師(西部地方会会長、岡山教会)、勧めを姜判國長老(広島教会)、祝辞を村上貴志牧師(日本基督教団高松教会)の順で行なわれた。

将立された金善栄長老は、1972年韓国の釜山で生まれ、2001年から川西教会、2008年から新居浜グレース教会の執事として奉仕してきた。

西部女性会

会長会議及び一日研修会 各教会の大切な役割確認し励み

西部地方教会女性連合会の「会長会議及び一日研修会」が3月9日(木)神戸東部教会において開催され、26名が参加した。開会礼拝は朴英子副会長の司会により始まり、韓承哲牧師(神戸東部教会)による「共に共感できる共同体」(ローマ12:9～16)と題してのメッセージがあった。

続いては、崔美恵子会長の司会により会長会議を行った。各教会女性会会長より年間活動報告があり、各教会女性会は人数、状況は違っても教会において大切な役割を担っており、活動している事がわかりお互い励みになった。

研修会前に船木多喜子姉妹を講師に口腔ケアを受けた。午後からの研修会では講師・中江洋一牧師による「癒された女性たち」副題「教会における女性の役割とは?」の講義があり、恵み豊かな会長会議及び研修会であった。

(報告者: 兪貞恵)



中部地方会

合同信徒研修会開催

2回の講演通じて信徒の生き方学ぶ

中部地方会の合同信徒研修会が、3月20日～21日、「宗教改革と教会の希望」という主題をもって大韓イエス教長老会総会長の李聖熙牧師(連洞教会)を講師として招いて行った。

開会礼拝は地方会長の全柄玉牧師の「このぐらいの信仰」という御言葉をもって始め、20日の主題講演は二回の講義で進行された。第一は「グローバリゼーション時代の在日大韓基督教会」という題で、第二は「カナンに入って行く聖徒の姿勢」という題を聞いた。また、讃美と祈祷の時間をもち、地方会が一つになるために、回復のために熱く祈った。

21日第三の講義は「ただ神の栄光」という御言葉を聞き、全般的なグループ討議をした後、書記崔和植牧師の「わたしたちは日々改革しましょう」という御言葉をもって閉会礼拝

をささげた後、解散した。

今回の研修会を通して日本で生きるクリスチャンとしてどうやって生きるべきかと、宗教改革の歴史的な流れ、教会においての訓練について深く悟り、有益なひと時を持った。

(報告：崔和植牧師)



中部女性会

一日研修会開き聖書学ぶ

フラワーアレンジメントの講習会も行う

中部地方教会女性連合会による一日研修会が2月21日名古屋教会で行なわれた。午前は1部として、岐阜教会の高誠牧師を講師に招き、ヨハネによる福音書1章1節のみ言葉を通して「聖書通読」というタイトルで聖書講演を聞いた。

昼食の後、2部では、岐阜教会の井貝ゆり代執事を講師に迎え、フラワーアレンジメントの講習会を行なった。長野、大垣、岐阜、名古屋から26名が集まり、主にあつて恵みを分かち合う貴い時間を持つ事ができ感謝の時であった。

(報告・金珍明)



5地方会の定期総会案内

<関東地方会 第68回 定期総会>

- ・日時：2017年4月29日(土) 10:30
- ・場所：在日本韓国YMCA
東京都千代田区猿樂町2-5-5、TEL03-3233-0611

<中部地方会 第54回 定期総会>

- ・日時：2017年5月4日(木) 11:00
- ・場所：豊橋教会
愛知県豊橋市大村町字花次85-1、TEL0532-54-7019

<関西地方会 第68回 定期総会>

- ・日時：2017年5月5日(金) 10:00
- ・場所：京都教会
京都市右京区西院北矢掛町20、TEL075-311-5051

<西部地方会 第33回 定期総会>

- ・日時：2017年4月29日(土) 10:30
- ・場所：神戸教会
神戸市長田区梅ヶ香町1-2-20、TEL078-682-3595

<西南地方会 第67回 定期総会>

- ・日時：2017年4月25日(火) 11:00
- ・場所：小倉教会
北九州市小倉区大田町14-31、TEL093-521-7271

留学便り

韓国で苦しさより楽しさ、痛みより感謝の日々

韓 盛 敦(総会神学生)



私は日本で生まれた在日同胞3世で、所属教会は関東地方会の西新井教会です。私は日本で生まれ、高校まで日本で勉強をし、大学を長老会神学大学のキリスト教教育学部に入学しました。キリスト教教育学部を卒業した後に、

時間はかかりましたが、多くの信徒の方々の祈りと神様の恵みのおかげで、昨年長老会神学大学の神学大学院に入学し、今年2年生に進学しました。韓国に最初に来た時、私が思っていた以上のカルチャーショックと歴史的衝撃、それから韓国人の、日本に対する視線が、このようなものなのだとすることをたくさん知ることができました。そして韓国の人々は在日同胞のことをこのように考えているのかということも知ることができました。

私は韓国に来て、いろいろ大変なことはありましたが、学部で会った先輩そして同期の友人のおかげで、苦しさより楽しさを、悲しみよりも喜びを、痛みよりも感謝することがたくさんありました。勉強が難しく大変ではありましたが、

今考えてみたら、これも神様がくれた恵みであることを知り一生懸命勉強しています。学部時には教育学を通じて、キリスト教教育、心理学、宗教心理、児童教育などを勉強し、今神学大学院では旧約、新約をさらに深く学んでいます。そして私は個人的にも歴史に興味があり、特に中世教会史を中心に授業を聞いています。もちろん、まだまだ厳しく難しい部分がたくさんありますが、これからも頑張って勉強をしたいと思います。

そして私は今現在、ブンダンという地域にあるカナアン教会で、1～6年生の子供を対象に奉仕をしています。土曜日にはオワナというプログラムを7歳から小学校2年生の子供達と行い、御言葉とゲームを通じて楽しく過ごしています。不足な私の子供たちを通じて、多くの挑戦と多くの学びを与えられたことに感謝しています。まだまだ足りない私ですが、神様からいただいたビジョン、召命のために、もっと熱心に学び勉強できるよう、韓国にいる留学生のために、日本にいる神学生のために、信徒の皆さんの多くのお祈りを願います。